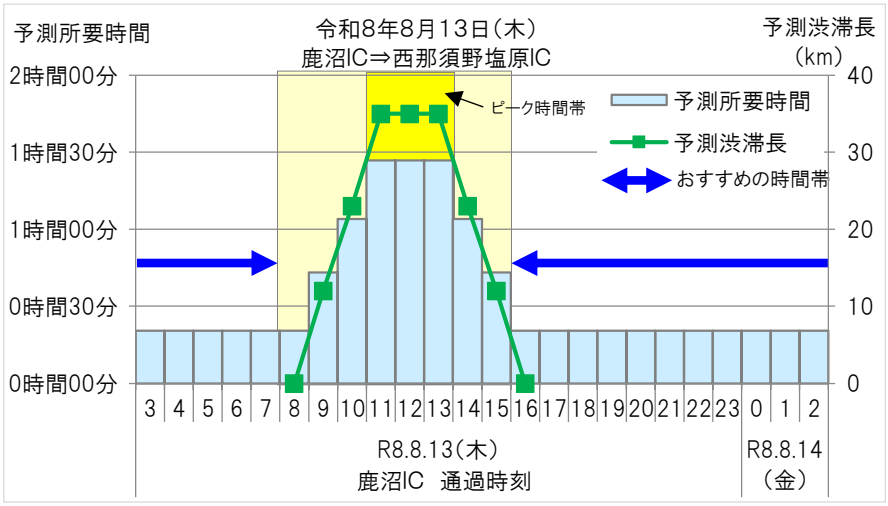
【別紙2】 特に長い渋滞の回避例

※別紙2ではIC間の所要時間を示しているため、別紙1で記載の所要時間とは一致しません

①8月13日(木) E4 東北自動車道(下り線)矢板北PA付近を先頭とする渋滞〔最大35km〕

◆ 鹿沼IC ⇒ 西那須野塩原IC区間を走行する場合、渋滞のピークは11～13時で、渋滞がない場合に比べ約4倍(1時間30分)の所要時間を予測しています。
◆ 川口JCTを8時よりも前または16時以降に通過する場合の所要時間は約20分と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。

位置図



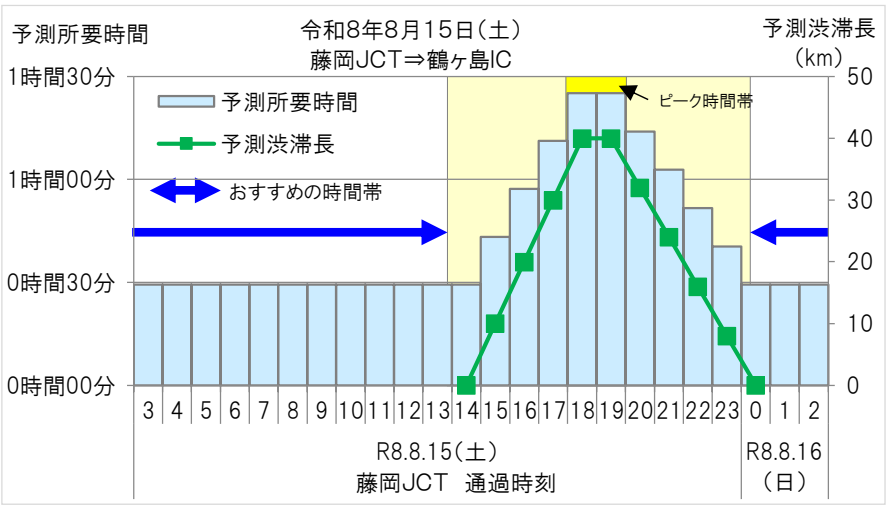
◆ 渋滞原因:サグによる速度低下

矢板北PA付近付近では下り坂から上り坂に変わるサグ部で無意識な速度低下が起きやすく渋滞が発生してしまいます。渋滞ポイント標識により速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度回復をお願いいたします。

②8月15日(土) E17 関越自動車道(上り線)坂戸西スマートIC付近を先頭とする渋滞〔最大40km〕

◆ 藤岡JCT ⇒ 鶴ヶ島IC区間を走行する場合、渋滞のピークは18～19時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約1時間30分)の所要時間を予測しています。
◆ 藤岡JCTを14時よりも前または翌日0時以降に通過する場合の所要時間は約30分程度と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。

位置図



高坂SA付近
付加車線
令和7年
3月28日
供用開始！

◆ 渋滞原因:サグ部による速度低下

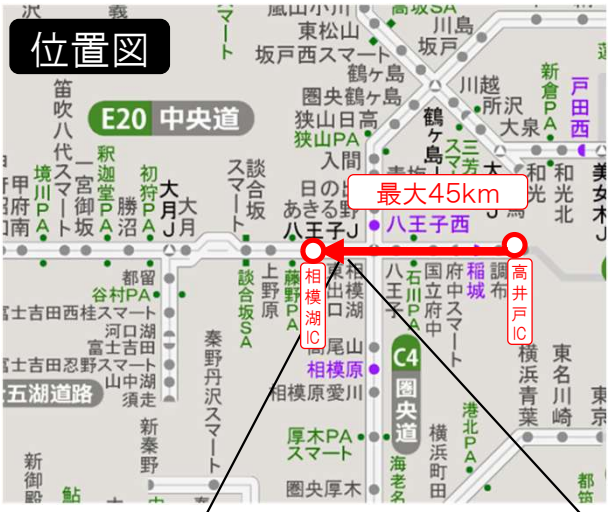
坂戸西SICの出口手前では下り坂から上り坂に変わります。無意識な速度低下にご注意ください。なお、関越道では当該箇所を含め渋滞対策工事を進めております。高坂SA付近の付加車線については令和7年3月28日に供用開始しました。残りの区間についても引き続き渋滞対策工事を進めてまいります。

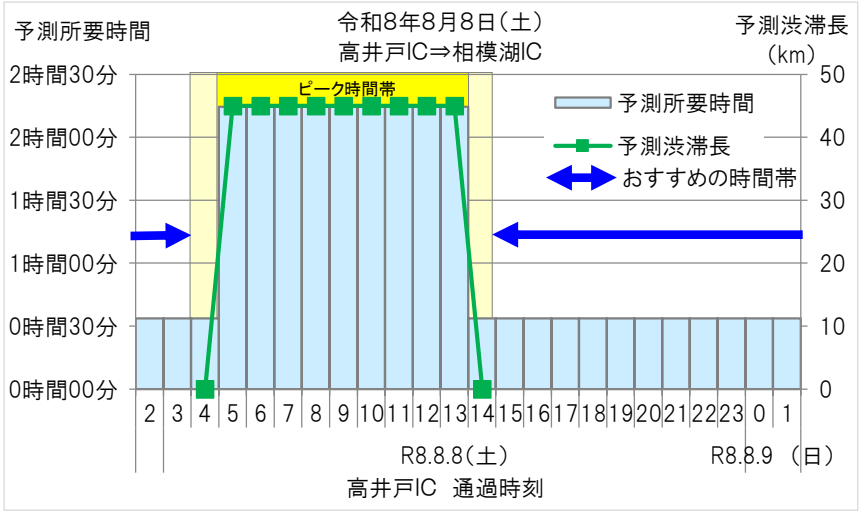
【別紙2】 特に長い渋滞の回避例

※別紙2ではIC間の所要時間を示しているため、別紙1で記載の所要時間とは一致しません

③8月8日（土） E20 中央自動車道（下り線）相模湖IC付近を先頭とする渋滞〔最大45km〕

◆ 高井戸IC ⇒ 相模湖IC区間を走行する場合、渋滞のピークは5～13時で、渋滞がない場合に比べ約4倍（約2時間15分）の所要時間を予測しています。
◆ 高井戸ICを4時よりも前または15時以降に通過する場合の所要時間は約35分と予測しており、これらの時間帯の利用をおすすめします。



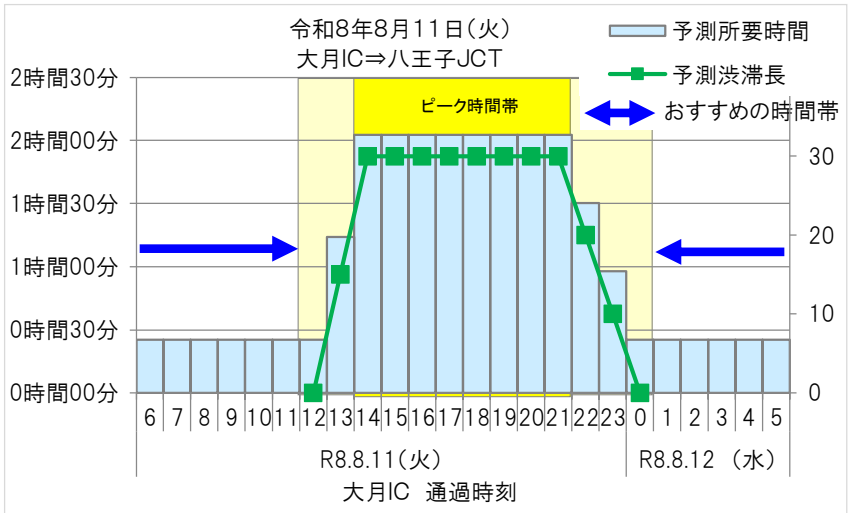


◆ 渋滞原因：サグによる速度低下

相模湖ICの2km手前付近は下り坂から上り坂に変わります。こうしたサグ部では無意識のうちに速度が低下してしまいます。
渋滞の原因となるため、周りの車に気をつけ速度低下にご注意ください。

④ 8月11日（火） E20 中央自動車道（上り線）小仏TN付近を先頭とする渋滞〔最大30km〕

◆ 大月IC ⇒ 八王子JCT区間を走行する場合、渋滞のピークは14～21時で、渋滞がない場合に比べ約5倍（約2時間）の所要時間を予測しています。
◆ 大月ICを11時よりも前または翌1時以降に通過する場合の所要時間は約25分と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。



◆ 渋滞原因：上り坂による速度低下

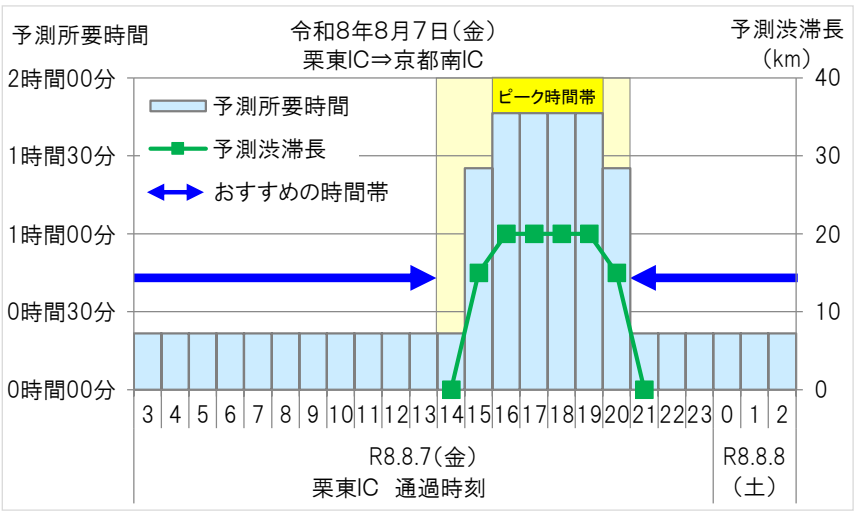
小仏トンネル付近は長い上り坂が続きトンネル部も重なることに加え、混雑期間には交通が集中することから渋滞が発生しやすいポイントです。
情報板で速度低下ポイントをお知らせしておりますので、周りの車に気をつけ速度低下にご注意ください。

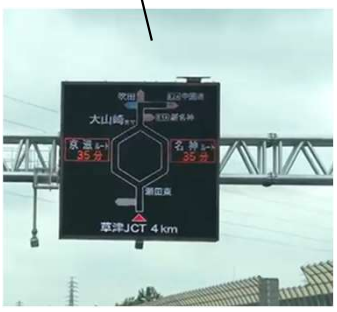
【別紙2】 特に長い渋滞の回避例

※別紙2ではIC間の所要時間を示しているため、別紙1で記載の所要時間とは一致しません

⑤8月7日（金）　E1　名神高速道路（下り線）旧山科BS付近を先頭とする渋滞〔最大20km〕

◆ 栗東IC ⇒ 京都南IC区間を走行する場合、渋滞のピークは16～19時で、渋滞がない場合に比べ約5倍（約1時間45分）の所要時間を予測しています。
◆ 栗東ICを14時よりも前または21時以降に通過する場合の所要時間は約20分と予測しており、これら時間帯の利用をおすすめします。



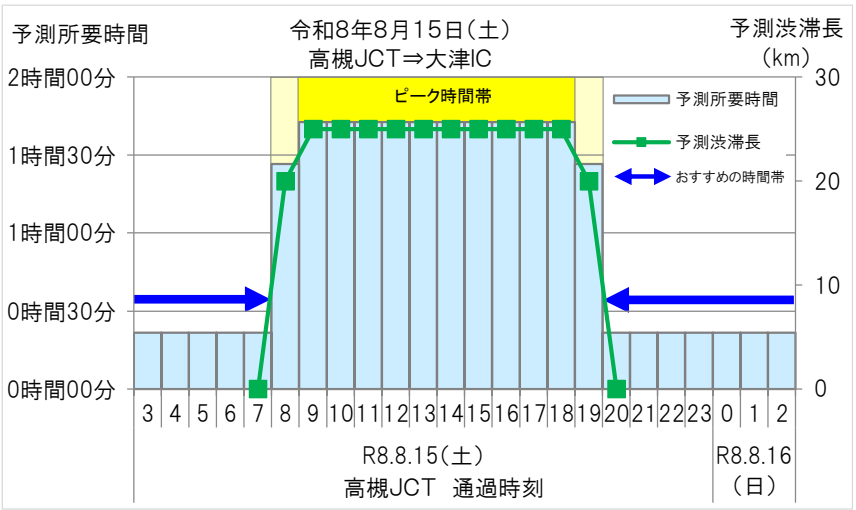


◆ 渋滞原因 ： サグによる速度低下

旧山科BS手前では、下り坂から上り坂に変わります。こうしたサグ部では無意識のうちに速度が低下してしまいます。大阪方面へは草津JCT、瀬田東JCTで、E1名神高速道路とE88京滋バイパスの2ルートの交通情報を提供する図形情報板を設置しておりますので、ルート選択の参考としてください。

⑥8月15日（土）　E1　名神高速道路（上り線）大津IC付近を先頭とする渋滞〔最大25km〕

◆ 高槻JCT ⇒ 大津IC区間を走行する場合、渋滞のピークは9～18時で、渋滞がない場合に比べ約5倍（約1時間45分）の所要時間を予測しています。
◆ 高槻JCTを7時よりも前または20時以降に通過する場合の所要時間は約20分と予測しており、これら時間帯の利用をおすすめします。



◆ 渋滞原因 ：大津IC・SAの分合流およびトンネル

大津IC・SAでの分合流及び手前2カ所のトンネルでの速度低下により渋滞が発生します。栗東・名古屋方面へは大山崎JCTで、E1名神高速道路とE88京滋バイパスの2ルートの交通情報を提供する図形情報板を設置しておりますので、ルート選択の参考としてください。

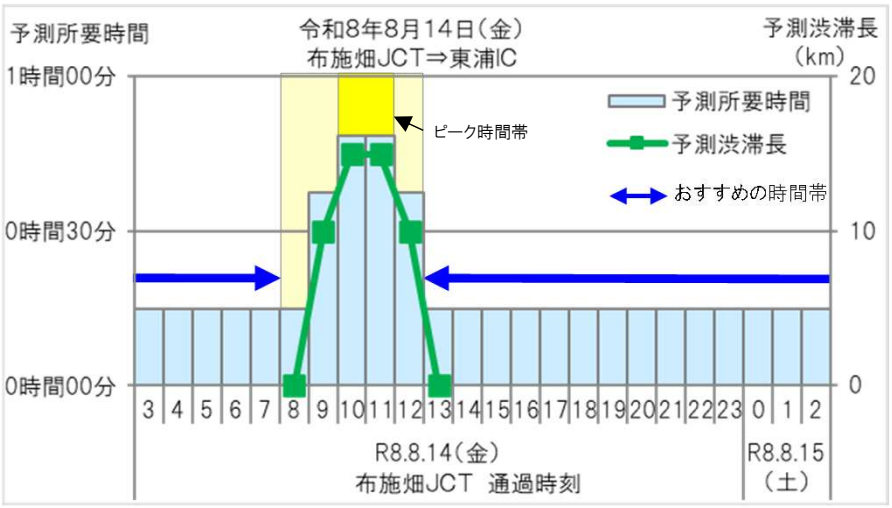
【別紙2】 特に長い渋滞の回避例

※別紙2ではIC間の所要時間を示しているため、別紙1で記載の所要時間とは一致しません

⑦8月14日（金） E28 神戸淡路鳴門自動車道（下り線）淡路IC付近を先頭とする渋滞〔最大15km〕

◆ 布施畑JCT ⇒ 東浦IC区間を走行する場合、渋滞のピークは10時～11時で、渋滞がない場合に比べ約3倍（約50分）の所要時間を予測しています。
◆ 布施畑JCTを8時よりも前または13時以降に通過する場合の所要時間は約15分と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。

位置図



速度低下の注意喚起標識

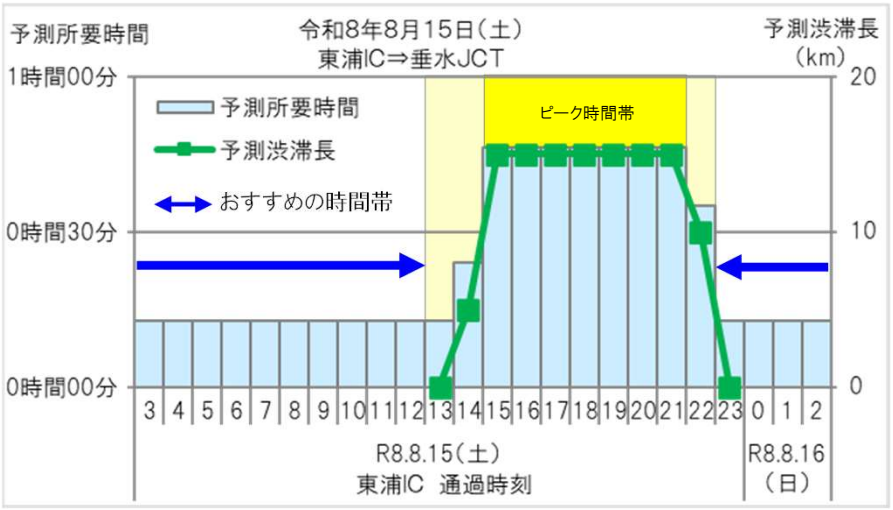
◆ 渋滞原因：長い上り坂やサグ部での速度低下

淡路IC付近は車線が減少するとともに、上り坂のため無意識のうちに速度が低下して渋滞が発生することがあります。
渋滞の原因となるため、周りの車に気を付けて、速度低下にご注意ください。

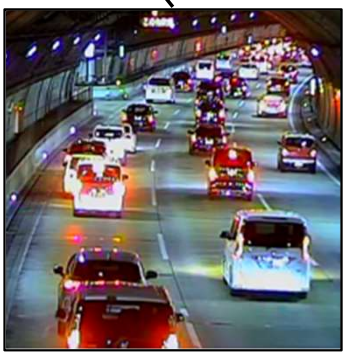
⑧8月15日（土） E28 神戸淡路鳴門自動車道（上り線）舞子TN出口付近を先頭とする渋滞〔最大15km〕

◆ 東浦IC ⇒ 垂水JCT区間を走行する場合、渋滞のピークは15時～21時で、渋滞がない場合に比べ約4倍（約45分）の所要時間を予測しています。
◆ 東浦ICを13時よりも前または23時以降に通過する場合の所要時間は約10分と予測しており、これらの時間帯のご利用をおすすめします。

位置図



図形情報板



◆ 渋滞原因：垂水JCTへの分岐やトンネルでの速度低下

舞子TN出口付近では、垂水JCTへの分岐及びトンネルでの速度低下により渋滞が発生します。混雑・渋滞時は、第2走行車線（3車線の中央車線）を直進し、大阪方面は布施畑JCTから阪神高速7号北神戸線、京都方面はE2山陽道三木JCT経由の方が便利な場合があります。淡路SAと明石海峡大橋の間に、交通情報を提供する図形情報板を設置しておりますので、ルート選択の参考としてください。